

みんなで取り組むシカ対策

大津市内の複数の地域でシカ被害が増加しています。

大切に育てた花や野菜を食べたり、道路に飛び出したりなどの様々なトラブルを起こしています。何もしないと、どんどん好き放題するようになってしまいます。

シカの被害を減らすためには地域全体で対策に取り組まなければなりません。

■シカはどんな動物？

①生態

- ・草食性で植物は殆ど何でも食べる。冬期には秋に草刈をした道路わきや畦などに芽吹いた草を好んで食べる。
- ・昼夜を問わず、2～3時間採食し2～4時間反芻するリズムを繰り返す。
- ・一定の地域に定着して生活する。
- ・メスは母子やメスだけの群れで、オスは単独もしくはオスだけの群れで行動する。
- ・縄張り意識は低いですが、強いオスは交尾期にハーレムを作る。このオスは「フィヨー」という求愛の鳴き声を夕方から夜にかけて数回発する。
- ・交尾期は9～11月頃の年1回。出産期は5～6月頃で、毎年1頭を出産する。野生での寿命は10～12年前後。

②特徴

- ・基本的に警戒心が強いですが、慣れると大胆になる凶太さも持っている。
- ・昼間は森林にいて田畑へは夜間に現われることが多い。
- ・蹄はあまり丈夫ではなく、足場の悪い場所や踵を傷つけるものを嫌う。
- ・視覚、聴覚は人間と大差ないが、嗅覚が発達していて臭いで危険を察知する。「ピィツ」という警戒の鳴き声を発して仲間に危険を知らせる。

- ・助走なしで2メートルの高さを飛び交える跳躍力を持っている。
- ・柵の地際に隙間があれば潜り抜けることができる。

③被害作物

- ・食性の幅広さから水稲、大豆、野菜、資料作物などあらゆる農作物が食害対象となる。水稲では稲穂の踏み荒らしも深刻な被害をもたらす。
- ・森林では植林後の苗木、弱齢木の樹皮の食害や、オスが角を擦り付ける習性による剥皮など林業被害が大きい。



シカは1日に3～4kgも食べる

シカから生活を守る

野生のシカは、通常人と出会わない所で生活していますが、山の中や草地などで野生のシカと出会ってしまうことがあります。

基本的に、野生の動物にとって人間は敵であるとともに、人にうつる病気にかかっている場合もあります。また、シカは臆病な動物なので追いかけて、刺激を与えたりすると道路などに飛び出す危険性もあります。特に夜が活動的なので、日没や夜明けの前後はご注意ください。

■シカにもし出会ってしまったら

(1) 近づかない

- ・大声を出すなどして脅かしてはいけません。静かにその場を立ち去るようにしましょう。

(2) 脅かさない

- ・大声を出すなどして脅かしてはいけません。静かにその場を立ち去るようにしましょう。

(3) 触らない

- ・弱って動けないシカを見つけても、決して触らないでください。

(4) もし触ったら手洗いやうがいをする

- ・野生動物やその排泄物などに触れてしまった場合は、手洗いやうがいをしてください。

※出産時期（6月～7月頃）には、生まれたばかりの子ジカを発見して、「弱って動けないのでは」と思うケースがありますが、親ジカが必ず近くで見守っています。

■スピードダウンで安全運転がシカとの事故防止に効果あり！

(1) 1頭だけと思わないで！

シカは群れで行動をしています。横断するシカを見つけたら、2頭目があるものと意識して下さい。

(2) 夕方から早朝にかけて注意！

シカの活動時間は夕方から早朝です。夜間は、車のヘッドライトに反射してシカの目が光るので、光るものを見たら注意して下さい。

(3) シカは道路上で歩きにくい！

シカの蹄は、道路では滑りやすく、機敏に逃げるできません。車を避けようとして転倒することもあります。

(4) シカは大型動物！

走行中に小さく見えてもシカは大型動物です。オスで高さが170cm、体重100kg以上になります。

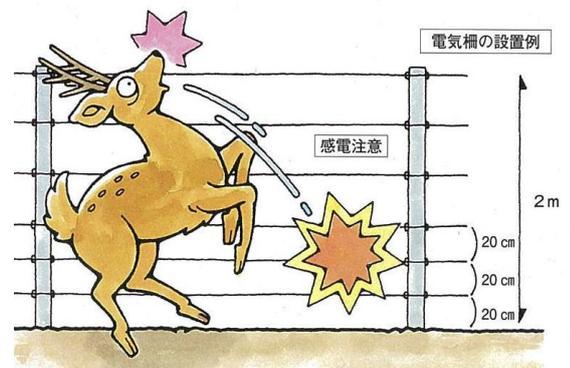
シカから農作物を守る

■集落に近づけない、集落や田畑をエサ場にしない

- ・休耕地や耕作放棄地の雑草がかくれ場・棲み家になり、人里に降りてきても簡単に人間に見つからない。
- ・収穫しない農作物を畑に放置しない。被害を受けた野菜類、畑の周辺で野生化した野菜や果樹も取り除く。
- ・お墓のお供え物・供花は必ず持ち帰る。
- ・水田は稲刈り後に放置すると、落穂や2番穂（ヒコバエ）、雑草が伸びシカのエサ場になる。

■シカ防除の決め手は柵にあり

- ・防護柵によってシカの侵入を防ぐことが最も効果的である。柵にはネット、金網フェンス、電気柵などがあるが、柵の高さを2メートル程度にする必要がある。
- ・柵に穴が開いていたりするとシカはその場所を覚えて執拗に侵入しようとする。補修はしっかり行い、定期的な管理が必要である。



電気柵もシカが地面に足を着けていないと効かない